

公益社団法人 全国出版協会 2025年度 事業報告

1. 一般情勢

当協会・出版科学研究所調べによる2025年（1～12月期）の「紙」と「電子」を合算した出版市場規模推計は、前年比1.6%（254億円）減の1兆5,462億円。4年連続の前年割れで、コロナ禍前の2019年とほぼ同規模となりました。

紙の出版物販売金額（書籍・雑誌）は前年比4.1%（409億円）減の9,647億円。内訳は「書籍」が前年同率（2億円増）の5,939億円、「雑誌」が同10.0%（411億円）減の3,708億円。紙市場は半世紀ぶりに1兆円を割りました。書籍はわずかながらですがプラスに、一方、雑誌は1割のマイナスと対照的な結果となりました。返品率は書籍が前年比1.3ポイント減の31.9%と大幅に改善。雑誌は同1.5ポイント増の45.3%と悪化し、特に週刊誌は54.6%と初めて5割を超えました。

書籍の店頭売り上げでは、ビジネス書、学参が好調。児童書、文庫本などが微減にとどまりました。作品別では、実写邦画興行収入歴代1位となった原作本『国宝（上・下）』が累計200万部を超える大ヒットとなったほか、文芸書では『変な地図』『カフネ』『成瀬は都を駆け抜ける』などが、児童書では『大ピンチずかん（3）』『ポケモン生態図鑑』が、ビジネス書では『科学的に証明された すごい習慣大百科』などが、新書本では『独断と偏見』などがよく売れました。

雑誌の内訳は「月刊誌」が前年比8.6%減の3,195億円、「週刊誌」が同17.9%減の513億円。落ち込みの要因は、紙コミックスの販売不振のほか、大手コンビニエンスストアの帳合変更に伴う販売終了店舗からの返品、主要誌の書店販売終了や刊行頻度の変更などによります。創復刊点数は前年より2点少ない25点と23年に並び過去最少。休刊点数は前年より10点多い99点で、『WiNK UP』『POTATO』『Duet』などアイドル雑誌が相次いで休刊しました。

電子出版の市場規模推計は前年比2.7%（155億円）増の5,815億円。内訳は「電子コミック」が同2.9%増の5,273億円、「電子書籍」が同1.5%増の459億円、「電子雑誌」が同3.5%減の83億円。これまで電子市場を大きく牽引してきた電子コミックですが、伸び率の鈍化が鮮明になってきました。本格的な成熟期を迎え、新規ユーザーの獲得が厳しくなるなか、各ストアで大型のポイント還元や割引、期間限定の全話無料施策が活発に行われました。紙＋電子市場の占有率は紙が62.4%、電子が37.6%。前年から電子が1.6ポイント上昇しました。

2. 協会活動の概況

2025年度の経常収益計は4,283万円（前年比92.1%、予算比104.6%）、経常費用計は3,785万円（前年比104.6%、予算比94.5%）、当期経常増減額は498万円（前年比48.1%、予算費570.6%）でした。

6月10日、公益財団法人高橋松之助記念顕彰財団を消滅法人、当協会を存続法人とした「吸収合併契約（効力発生日2026年1月1日）」を締結。高橋財団の財産・権利を承継しました。消滅した財団の流動資産1,009万円を経常外収益として受け入れた結果、一般正味財産期末残高は5,682万円（前年比136.1%、予算比141.6%）となりました。

さらに、財団の基本財産300万円と所有していたトーハン株119万9,500株を指定正味財産として受け入れ、最終的に正味財産期末残高は1億1,979万円となりました。

当期中、入会は無し、退会は1社。期末時点の会員社数は94社、会員数は95名となりました。

収入面では、事業収益の大半を占める刊行物頒布による収入が1,914万円と予算に対し160万円のプラスになりました。『出版指標 年報』の販売数は減少しましたが、「全誌購読」による収入は前年同額と安定しております。

正会員会費計は950万円、寄付金は（株）トーハンから1,400万円です。

支出面では、これまで按分し、高橋財団で計上していた費用（人件費、賃借料など）を26年1月より当協会に計上したため対前年では増加しましたが、刊行物発行費の圧縮等により対予算ではマイナスとなりました。

3. 会員状況

会員数 94社95名（2026年3月末現在）

入会社 なし

退会社 童心社

4. 出版物に関する調査研究成果の発表

（1）出版物に関する調査研究をもとに、以下の刊行物を発行しました。

1）定期刊行物 2点

季刊出版指標	（季刊）	4冊
出版指標 年報 2025年版	（年刊）	1冊

全協会員社および定期購読者に月次統計データ「出版指標マンスリーレポート」PDF版の提供を行いました。

2）刊行物購読口数（26年3月末現在）

全誌購読コース	195口
季刊出版指標コース	224口

5. 情報提供（レファレンスサービス・取材対応）

（1）照会件数

照会先・取材先	件数	照会先・取材先	件数
出版社	17	出版団体	1
新聞社	49	書店	7
テレビ・ラジオ	36	学校・学生	13
一般個人	11	印刷・製本・用紙	4
研究・調査機関	12	業界紙	4
取次会社	38	企業その他	5
官公庁・自治体	6	Webニュース	2
金融・証券	1		
海外	2	合計	208

（前年度照会件数 266 件）

（2）照会方法 電話 105、メール・HP お問い合わせフォーム 76 件、
来所（ZOOM 等含む）27 件

6. 文字・活字文化の振興および啓発

高橋松之助記念顕彰財団の活動に人的協力を行い、第 18 回「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」贈呈式をはじめとする顕彰事業の協賛をいたしました。

「吸収合併契約（効力発生日 2026 年 1 月 1 日）」により財団の財産・権利を承継し、ホームページの変更や、2026 年 3 月 12 日に行われた 2025 年度第 2 回理事会で、高橋松之助記念顕彰事業の規定を制定するなど、2026 年度からの顕彰事業継続の準備を進めました。

以上